

1 各部門の最優秀賞の講評

(1) 個人花壇の部（上級）

コンテナを多数並べて、立体的に花壇を作っていたが、一鉢一鉢がしっかり管理された全体的に見ごたえのある作品で、見る人を圧巻させる風景である。同じ種類の花のコンテナを左右に並べて線を表したり、集合させてボリュームを出したりするなどデザイン性も工夫されていた。日頃の水管理の努力がうかがえた。

(2) 個人花壇の部（一般）

多くの種類の花材が植えられたコンテナが、地面狭しと寄せられると同時に、トレリスや吊り鉢、リングバスケットを使い、立体的にも装飾されていた。色彩は黄色、青色、紫色を中心に、まとまりのあるデザインであった。

(3) 共同花壇の部（上級）

ゆるい傾斜面の大花壇を階段状に小さく区画し、作業性を高めながら、各区画が春らしい黄色や桃色の花で埋め尽くされデザイン性の高さを感じた。

道行く車でさえ、つい目を引かれる美しい花壇は圧巻である。かん水や日々の管理も徹底され、担当されている皆さんの熱意を感じた。

(4) 共同花壇の部（一般）

春の草花が美しく咲き、まとまりの良い花壇が多く、審査の順位付けが難しかった。その中でも、最優秀花壇は全ての草花の開花が揃い、花色と草丈のバランスが見事であった。水を運んでのかん水や草取り、花がら摘みなど日々の管理に努力の跡がうかがえた。

(5) 保育園・学校花壇の部

広い面積を活用して模様を組み合わせたデザインにしたり、背面に草丈の高い草花を配置したりするなど、立体的にも見ごたえのある花壇であった。花がら摘み、草取りもしっかりできて、先生と学童が一体となって学校環境を整えている成果が出ていた。

2 総評

今年は暖冬多雨の影響で草花の徒長や傷みも見られたが、上級の部ではきめ細かな管理と適切な肥料やりで、株をコンパクトに育て、見事な花揃えも見られた。

直前の強風雨でチューリップの花びらが飛んだり、株が倒れたりするなどの被害も見られたが、総じて春らしい色取り豊かで美しい花壇が多く見られた。

令和6年（2024年）4月12日

審査員

名古屋市みどりの協会 緑の相談員

谷 澤

隆

梶 田

靖